

# 東日本大震災による被災施設 の事業再開について

平成27年3月4日報告  
社会福祉法人愛恵会



旧養護老人ホーム五葉寮  
娯養の池

# 1. 施設再建の状況

## ■ 再建の概況

東日本大震災の津波で被災した

■ **養護老人ホーム五葉寮** (生活管理指導短期宿泊・五葉寮いきいきデイサービス併設)

+

■ **いきいき福祉センター** (居宅介護支援、訪問介護、訪問入浴)

◎ **津波の危険のない被浸水地域に移転新築して  
平成25年11月事業再開 1年4カ月経過**

# 五葉寮移転先及び津波被害区域



— 津波浸水区域



被災した養護老人ホーム五葉寮



被災したいきいき福祉センター

## ■ 再建の現況

☆ 再建場所 岩手県釜石市鶉住居町2-20-1 ※ 被災旧施設から鶉住居川上流4km

☆ 敷地面積 8264.57㎡ ※ 平成24年10月23日購入

☆ 事業再建年月日

養護老人ホーム五葉寮 平成25年11月23日 (事業開始 平成25年11月29日)

いきいき福祉センター 平成25年11月22日 (事業開始 平成25年11月25日)

☆ 施設の概況

養護老人ホーム五葉寮 建物面積: 2750.4 m<sup>2</sup> 構造規模: 鉄骨造2階建

いきいき福祉センター 建物面積: 282.38m<sup>2</sup> 構造規模: 木造平家建て

☆ 連絡 電話 0193-28-3005 FAX 0193-28-3007

メールアドレス: [goyo\\_117@aioros.ocn.ne.jp](mailto:goyo_117@aioros.ocn.ne.jp)

HP: <http://iwate-aikeikai.jp/14.html>



## ■ 施設概況

事業所名		養護老人ホーム五葉寮	五葉寮生活管理短期宿泊事業	五葉寮いきいきデイサービスセンター	いきいき居宅介護支援センター	いきいきホームヘルプステーション	いきいき訪問入浴介護センター
種別		養護老人ホーム	老人短期入所施設	老人デイサービスセンター	居宅介護支援センター・在宅介護支援センター・地域包括支援センター業務受託	訪問介護事業	訪問入浴事業
開設年月日		平成14年4月	平成14年4月	平成14年4月	平成14年4月	平成14年4月	平成14年4月
定員(名)		50	2	30			
構造	旧施設	1886.84m <sup>2</sup>			263.21m <sup>2</sup>		
	新施設	2570.4m <sup>2</sup>			282.38m <sup>2</sup>		
	差引	683.56m <sup>2</sup>			19.17m <sup>2</sup>		
職員	旧施設	26		7	5	15	7
	新施設	29		7	3	16	4
	差引	+3		0	-2	+1	-3



広々とした駐車スペースとポーチ



交流ホールのバルコニーから眺める景色も壮観です

ゆったりと明るい雰囲気です  
食事が  
できます



# いきいき福祉センター

五葉寮と同敷地内にあるいきいき福祉センター



## 2. 大震災での教訓等

発災時～避難状況



## ■ 発災時における対応

① 予期しなかった津波災害への対応

養護老人ホームは過去の浸水区域ではなかった

② 入所者も地域住民とともに避難

③ いきいき福祉センターの職員がすべて五葉寮を目指して  
避難した

③ 被災し混乱した中での五葉寮入所者への地域住民の  
協力

# 避難生活での対応

## 1. 水の確保

和楽苑(作業所)の備蓄分、被災した施設の給湯器の残った水、津波で浸水した施設内の自動販売機の利用

## 2. 食事の確保

被災した当日、高齢者には桃缶1個

## 3. 入所者の薬の確保

医務室の薬保管庫は浸水を免れた。

## 4. 職員体制

家族の安否がわからない中で24時間体制での職員対応。他の避難所、高齢者等福祉避難所の24時間体制での介護

日	食	内容
3/11(金)	夕食	黄桃缶、白桃缶、洋梨缶(1人ひとつ) 市話の汁
3/12(土)	朝食	自動販売機の缶ジュース1本、お菓子
	昼食	栗林へ避難のため食べずに移動 栗橋等福祉センターへ
	夕食	配給のおにぎりと五葉菜で作ってきたおにぎり
3/13(日)	朝食	おにぎり、漬物、差し入れのりんご
	昼食	おにぎり、漬物
	夕食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、漬物 ※新幹線センターに避難会集合 五葉菜に食料、布団、米、味噌、取りに行ってきた 夜、ビッグハウスよりうどん、そばちろう
3/14(月)	朝食	おかゆ、梅干、味噌汁(じゃが芋)、漬物
	昼食	うどん(配給のゆで卵のせ)、おにぎり、漬物
	夕食	おにぎり、味噌汁(ゆのり)、すき昆布の煮物、漬物、ゆで卵 ※Jショップよりお菓子買出し
3/15(火)	朝食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、ほうれん草のおひたし 黒豆、漬物
	昼食	うどん、おにぎり、漬物、ひきの煮物(小野寺支援員より)
	おやつ	みかん、バナナ
3/16(水)	夕食	おにぎり、パン、ソーセージとベーコン炒め、漬物 ぶらぶら大根
	朝食	おにぎり、パン、味噌汁(白菜)、漬物
	昼食	おにぎり、煮込みうどん、そば(玉ねぎ、干しいたけ) 漬物、おひたし(白菜とわかめ)、煮豆
3/16(水)	おやつ	りんご
	夕食	おにぎり、味噌汁(じゃが芋)、さば味噌煮缶詰と大根おろし 漬物
	朝食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、じゃが芋と玉ねぎの煮物、漬物
3/17(木)	昼食	おにぎり、漬物、麦茶
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
	夕食	おにぎり、漬物、麦茶
3/18(金)	朝食	玉子糍炊、漬物、麦茶
	昼食	おにぎり、じゃが芋とピーマンの味噌炒め、漬物
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
3/18(金)	夕食	おにぎり、味噌汁(白菜)、たくあん缶詰、さんま生煮 ※栗林地区の炊き出し断る
	朝食	梅と明子の粥炊、味噌汁(キャベツ)、漬物、さつま芋の煮物 りんご
	おやつ	りんご
3/19(土)	昼食	おにぎり、カレー、フランスパン
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
	夕食	おにぎり、味噌汁(白菜)、漬物、牛肉大和煮(缶詰)
3/20(日)	朝食	おかゆ、味噌汁(わかめとねぎ)、漬物、ヤクルト 茹子とキャベツの炒め物
	おやつ	りんご
	昼食	おにぎり、キャベツのおひたし、鶏とモツの煮込み缶詰
3/20(日)	おやつ	ロールケーキ、餅2ヶ
	夕食	おにぎり、味噌汁(キャベツ)、じゃが芋としいたけの煮物
	朝食	パン、玉ねぎとわかめとしいたけのスープ、バナナ スクランブルエッグ
3/21(月)	おやつ	りんご
	昼食	おにぎり、味噌汁(さつま芋とねぎ)、いわしの生煮煮
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
3/21(月)	夕食	カレーライス、味噌汁(キャベツとしいたけ)、スパサラダ
	朝食	ご飯、味噌汁(玉ねぎとわかめ)、さんま缶詰、牛乳 しいたけの炒め物
	昼食	おにぎり(梅)2ヶ、飲み物、お菓子の袋詰め ※入所者、県内の避難者人ホームへ一時避難 ※デイサービス利用者、はまゆりへ避難

非常食献立 H22年度版

	献立	分量	エネルギー(kcal)
朝食	ご飯(米)	70 g	250 kcal
	味噌汁	8.2 g	28 kcal
	さんま缶詰	80 g	245 kcal
	梅干し	10 g	3 kcal
小計			526 kcal
昼食	ご飯(米)	100 g	250 kcal
	カレー	210 g	171 kcal
	牛肉大和煮	42 g	72 kcal
	白桃缶	50 g	51 kcal
小計			544 kcal
夕食	ご飯(米)	70 g	250 kcal
	わかめスープ	6.4 g	21 kcal
	いわしの味噌煮缶詰	140 g	170 kcal
	小計		441 kcal
総計			1511 kcal

[災害時の食事について]  
施設倉庫(和楽苑)には、災害時のための非常用食品を3食分(1日分)備蓄しています。災害発生後、必要に応じて上記の献立に沿った食事を入所者に提供してください。

[調理器具等]  
ライフラインの被害状況を考慮し、臨機応変に調理器具の選択をする。カセットコンロ、バーベキューセット、鍋、ホットプレート等を備えてあるので非常食品の調理方法に沿って、適宜対応してください。

[予備食]	[備品類]
米 30kg	和楽苑に保管
味噌 5kg	和楽苑に保管
各種調味料	和楽苑に保管
梅干し 20kg	和楽苑に保管
水 2リットル×50本	和楽苑に保管
	・割り箸
	・使い捨て容器
	・紙コップ
	・マッチ
	・缶切
	・使い捨て手袋





震災前 和楽苑

震災当日の避難先 和楽苑



## 震災当日から3日目までの避難ルート



- |             |   |                        |   |              |
|-------------|---|------------------------|---|--------------|
| 1日目 (3月11日) | ▲ | 五葉寮裏にある和楽園 (付設作業所)     | ■ | 栗林地区基幹集落センター |
| 2日目 (3月12日) | → | ● 栗林町川目集会所 ▲ 釜石市立栗林小学校 |   |              |
| 3日目 (3月13日) | → | ■ 栗林地区基幹集落センター         |   |              |

## ▪ 避難経過

- 震災1日目 養護老人ホームの裏の和楽苑に避難
- 震災2日目 鶉住居川上流3か所の避難所へ分散避難 (被災地より3.5km~5.8km)
- 震災3日目 3か所の避難所から1か所の避難所へ (栗林町内会の協力を得て)
- 震災11日目 養護老人ホーム五葉寮入所者は岩手県内9施設に措置替え分散避難 (高齢協養護部会、各施設様の協力を得て) デイサービス利用者のご家族のもとへ
- 震災2年8か月後
  - 岩手県内9施設様から新施設へ入所者を受入。(各施設様より新たに措置替え)
  - 仮設での事業運営から新施設でデイサービスを開設
  - 仮設での事業運営から新施設でいきいき福祉センターを開設



## 災害時の教訓から

1. 災害時、混乱時にはシンプルな指示系統
2. 出来ることをまず一歩踏み出すこと
3. 五葉寮が地域から認知されていた  
⇒ 五葉寮を地域が守ってくれた

## ■ 被災後に認識した教訓

1. 被災地には情報が伝わらない
2. プロパンガスの利用で入所者や利用者へあたたかい食事の提供が  
来た
3. 電力や水、食料の確保の必要性
  - ・3日間をどう持ちこたえるか
  - ・施設自体が被災した災害時 ⇒不足の事態が起きた場合の食事提  
供業務代行2業者(今回の災害で2業者とも被災)
  - ・施設が被災しない災害時 ⇒食料、水の備蓄、非常用発電機等

# 3. 再建に向けて

# 施設 再建の経過

## 平成23年

- ・ 3月19日 避難所に各事業所長、主任、副主任を集合させ復興への思いを聴取し、出席者全員が力を合わせて復興、施設再開を図ることを確認した
- ・ 3月20日 出席可能な理事、評議員で会議を開催し法人各事業の復興を図ることを確認した
- ・ 8月11日 理事会において津波の来ない安全な場所に移転新築し、地域住民の安心できる避難場所として施設を再建することを確認
- ・ 12月22日 移転新築の資金計画が立たず、やむを得ず現地原形復旧の方針が理事会で承認された

## 平成24年

- ・ 3月4日 移転協議の可能性が出た中で再度移転新築のシュミレーションを行ったが財政的に無理があり再び移転を断念した
- ・ 3月6日 釜石市長の意見を踏まえて現地原型復旧を基本としつつ、再度移転新築の方向も再検討した
- ・ 9月6日 釜石市長の意見書を添えての五葉寮の移転協議が承認された
- ・ 10月23日 建設予定地の敷地を法人で確保購入した
- ・ 11月29日 災害復旧費国庫補助金協議で補助金が確定した

## 平成25年

- ・ 3月4日 養護老人ホーム五葉寮地鎮祭
- ・ 3月27日 いきいき福祉センター地鎮祭
- ・ 11月23日 養護老人ホーム五葉寮竣工・再開
- ・ 11月22日 いきいき福祉センター竣工・再開



# 事業 再建の経過

## ・ 利用者へのサービスについて

- |            |                              |
|------------|------------------------------|
| 平成23年3月15日 | 鶴住居、唐丹居宅介護支援センターが利用者の安否確認を開始 |
| 平成23年3月22日 | いきいき唐丹ホームヘルプステーション事業再開       |
| 平成23年3月31日 | いきいきホームヘルプステーション事業再開         |
| 平成23年4月20日 | いきいき訪問入浴介護センター事業再開           |
| 平成23年4月25日 | 五葉寮いきいきデイサービスセンターが仮設で事業再開    |
| 平成23年4月25日 | いきいき唐丹デイサービスセンター事業再開         |
| 平成23年8月 3日 | 鶴住居地区高齢者サポートセンターを釜石市から受託運営開始 |



唐丹事業所は高齢者の福祉  
避難所的な役割を果たす。物  
資の供給の拠点にもなった

唐丹事業所が被災を免れたこと  
が法人の再建に向けて大きな力  
となった。

また唐丹事業所が生活応援セ  
ンター、保健師も交えて唐丹地  
区の災害支援の拠点となった。



旧栗橋診  
療所跡

リース  
の浴槽

唐丹デイサー  
ビスの送迎車

平成23年4月25日再開の  
五葉寮デイサービス

## 平成23年8月3日開設の鵜 住居地区サポートセンター



サポートセンターの受託が職員の仕事の確保となり、同時に施設が被災した中で介護保険業務の拠点となって業務を展開できた。

# 不足した職員派遣の受入れ

五葉寮開所時に職員の確保が出来ず  
全国社会福祉法人経営協議会様、大  
阪府社会福祉協議会様から鶉住居地  
区サポートセンターへの職員派遣のご  
支援をいただきました。

おかげさまで養護老人ホームの職員  
の人員不足を補うことが出来ました。

また、派遣頂いた専門職員の方々か  
ら相談援助、介護技術等のご指導をい  
ただきました。

## 派遣頂いた専門職の方々

社会福祉士・精神保健福祉士・臨床心  
理士・介護福祉士・ケアマネージャー  
等

たいへんありがとうございました。

## 平成25年度 岩手県釜石市 鶉住居地区サポートセンターへの職員派遣一覧

社会福祉法人 全国社会福祉法人経営協議会  
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

クール	派遣期間	派遣職員の所属	派遣人数	勤務日数
1	平成24年12月1日(日) ～12月15日(日)	(福)みささぎ会 藤井寺特別養護老人ホーム様	1	11
		(福)みささぎ会 藤井寺特別養護老人ホーム様	1	11
2	平成24年12月14日(土) ～12月28日(土)	(福)八尾隣保館 定法苑様	1	11
		(福)八尾隣保館 サポートやお様	1	11
3	平成24年12月27日(金) ～平成25年1月10日(金)	(福)秀幸福祉会 庄栄エルダーセンター様	1	11
		(福)慶徳会 ケアプランセンター精華苑様	1	11
4	平成25年1月9日(木) ～1月23日(木)	(福)恩賜財団済生会支部大阪済生会 泉尾特別養護老人ホーム第二大正園様	1	11
		(福)恩賜財団済生会支部大阪済生会 泉尾特別養護老人ホーム第二大正園様	1	11
5	平成25年1月22日(水) ～2月5日(水)	(福)玉美福祉会 向日葵様	1	11
		(福)玉美福祉会 向日葵様	1	11
6	平成25年2月4日(火) ～2月18日(火)	(福)由寿会 法人本部様	1	11
		(福)あゆみ会 アンバス東大阪様	1	11
7	平成25年2月17日(月) ～3月3日(月)	(福)由寿会 法人本部様	1	11
		(福)由寿会 アーバンケア八戸ノ里様	1	11
8	平成25年3月2日(日) ～3月16日(日)	(福)亀望会 江之子島コスモス苑様	1	11
		(福)桃林会 祥雲館様	1	11
9	平成25年3月15日(土) ～3月29日(土)	(福)そうび会 つるぎ荘様	1	11
		(福)そうび会 つるぎ荘様	1	9

# 被災後の課題

## 1. 養護老人ホーム入所者について

養護老人ホーム五葉寮(定員50人)は平成26年4月1日から満床となっております。しかし地域においては震災後あらたな養護対象者も増加しております。

## 2. 介護保険利用者について

当法人の主たるサービスエリアである鶉住居地区は壊滅的な被害を受け利用者やご家族は仮設住宅など市内全域に分散して居住しており、震災前に比べてデイサービスの送迎時間、訪問介護員の移動時間の長さがサービス提供に影響している状況もあります。

## 3. 職員の確保について

職員の雇用確保は地域全体としても難しく、介護ニーズのある利用者様に必要な介護保険サービスを提供できていない状況もでております。

# 法人の財務についての課題

## 1. 資金収支残高について

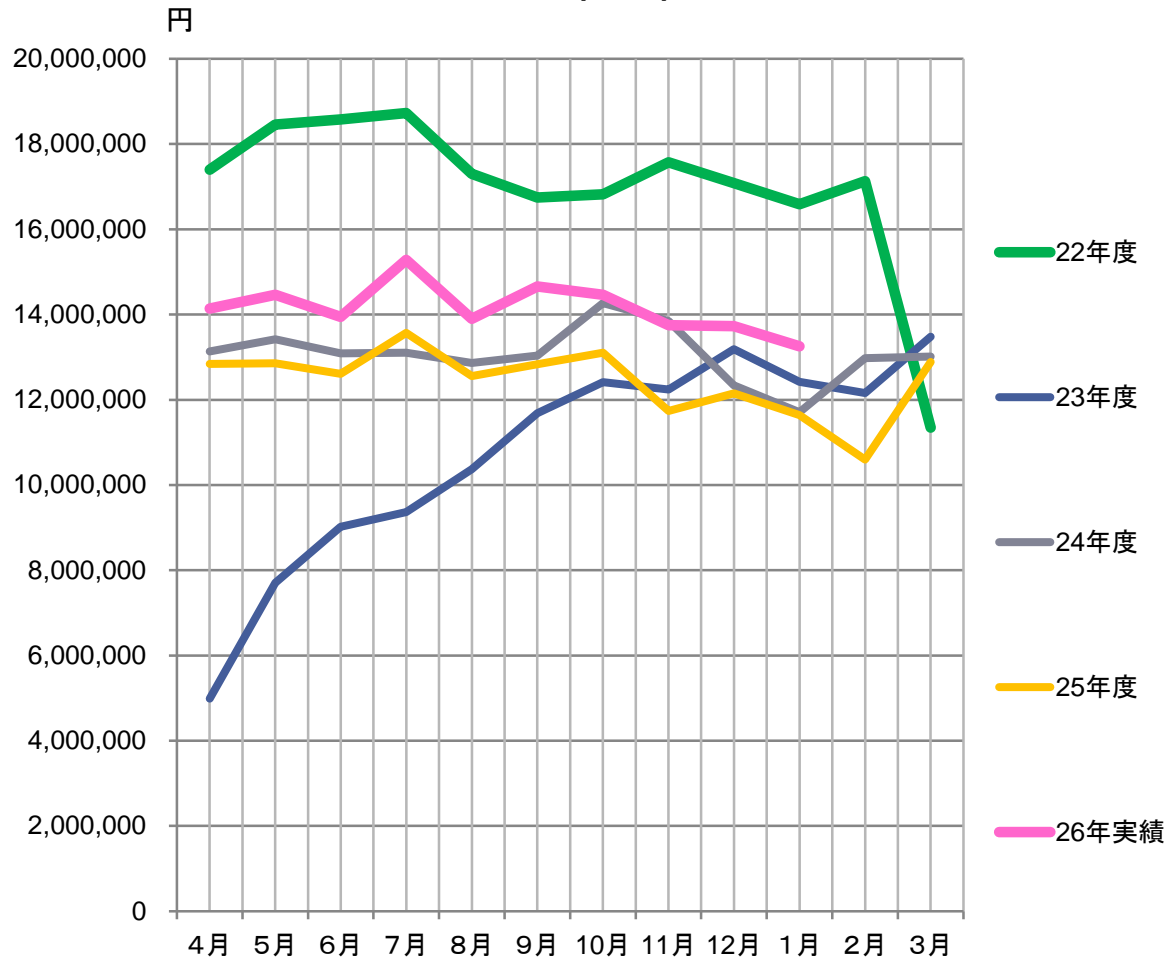
今次災害復興のなかで当初より養護老人ホーム定員50床、措置ショート2床と在宅介護保険事業の事業構成の中では多額な借入金が出来ない財務体質にありました。また償還財源の養護老人ホームの民間施設給与改善費は介護職員不足になかでは養護再開時、無資格の職員、措置経験等の無い職員を採用しており震災前より大幅に落ち込んでおります。新たな介護保険報酬改定のなかで借入金1億円、実質資金収支残高(介護保険事業の国保連未収金は含まず)1億円強で新たなスタートを切っております。

# 開所からの五葉寮入所者の推移

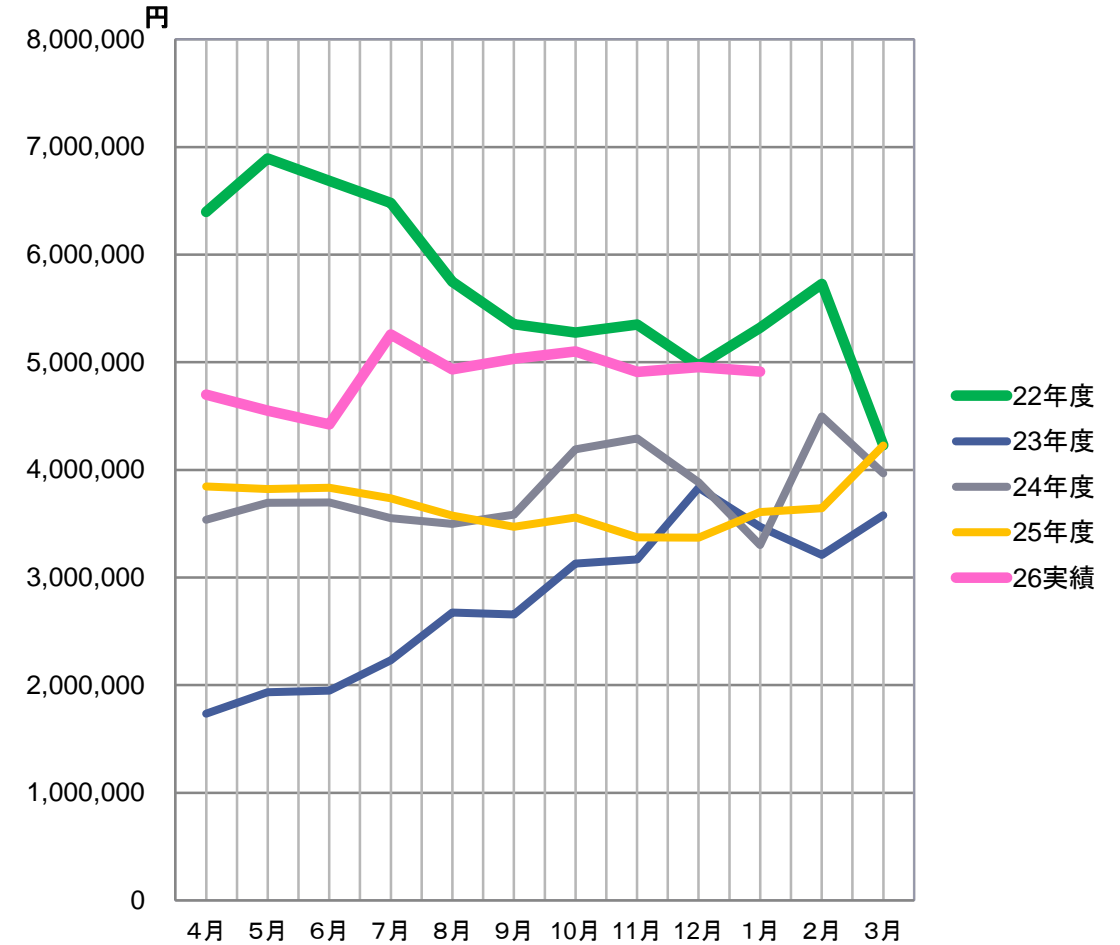
項目		25年 11月	12月	26年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	27年 1月
定員寮 在 数	員数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	述日 数	1500	1550	1550	1400	1550	1500	1550	1500	1550	1550	1500	1550	1500	1550	1550
在寮 実 績 数	員数	11	39	43	43	49	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
	延日 数	20	992	1,303	1,231	1,447	1,468	1,508	1,487	1,519	1,512	1,485	1,495	1,451	1,541	1,550
利用率(述日 数)		1.3%	64.0%	84.1%	87.9%	93.4%	97.9%	97.3%	99.1%	98%	97.5%	99.0%	96.5%	96.7%	99.4%	100%

# 震災時からの介護保険事業の推移

法人全体(金額)



訪問介護事業所 (金額)





## 4. 再建後における意見等

# 現在の状況

## 津波の来ない安全な場所へ移転

- ・釜石市と高齢者等の福祉避難所の協定を結ぶ
- ・災害時の地域の避難場所としての役割
- ・地域包括ケアシステムの拠点としての役割

釜石市内における福祉避難所拠点



施設別避難対象

- 特別な配慮を要する高齢者
- 身体障害者
- 知的障害者

# 社会福祉法人愛恵会 経営理念

私たちは、社会福祉法人として  
相互扶助の精神の基に取り組みます

私たちは、福祉事業の  
実践を通じて地域社会に貢献します

# 目指すもの

養護老人ホームの本来的な役割の発揮  
(ソーシャルワーク機能の充実)

在宅介護保険事業の地域ニーズへの的確な対応

地域包括ケアシステムにおける役割を担う

# 現在の取り組み

## ●地域包括システムの拠点との連携

- ・鵜住居生活応援センターとの連携（鵜住居地区）
- ・唐丹応援センターとの連携（唐丹地区）

## ●医療との連携

- ・OKはまゆりネットワークへの参加
- ・養護老人ホーム入所者の医療、生活情報の共有

嘱託医、施設長・看護師、相談員、支援員、栄養士等

# 現在の取り組み

## 地域との交流

- 近隣の保育園児、幼稚園児、小中学生との交流
- 町内会、消防団との交流(災害支援、災害時施設を地域に提供)

## 嘱託医との情報交換

入所者情報を医療・介護・生活のそれぞれの分野から集約し共有することで、入所者のさらなる安全、安心な生活の向上を目指す。





～ 地域交流の一環 ～



震災前から交流のある保育園児とも久々の再会

中学校の皆と清掃活動もしました

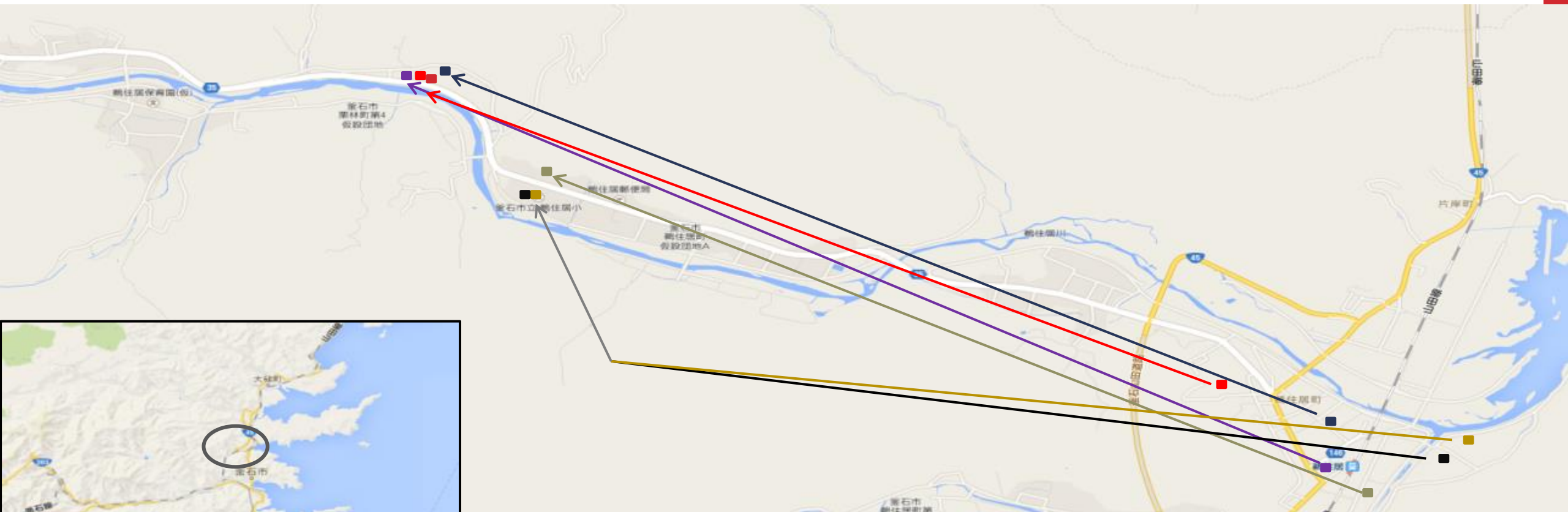


## 戻ってきた日常のひとコマ



頂いた柿の皮をむいて、干し柿にしてみました。

# 鵜住居被災区域における移転先



- 五葉寮・いきいき福祉センター
- 鵜住居保育園 様
- 鵜住居幼稚園 様
- 鵜住居小学校 様
- 釜石東中学校 様

## 災害時の教訓から

**出来ることをまず一歩踏み出したこと**

⇒ 全国から多くの方々よりご支援をいただきました

**五葉寮が地域から認知されていたこと**

⇒ 五葉寮は昭和37年に釜石市が設立した施設でした

**独自で立ち上がる前提での復興計画**

⇒ 震災直後は全く無理でしたが補助金等多くの方々  
にご支援をいただきました

# 5. 参 考

震災時、非常食は和楽苑に保管していた。高齢者等に桃缶を提供できた。

非常食献立 H22年度版

	献立	分量	エネルギー(kcal)
朝食	ご飯(米)	70 g	250 kcal
	味噌汁	8.2 g	28 kcal
	さんま缶詰	80 g	245 kcal
	梅干し	10 g	3 kcal
	小計		526 kcal
昼食	ご飯(米)	100 g	250 kcal
	カレー	210 g	171 kcal
	牛肉大和煮	42 g	72 kcal
	白桃缶	50 g	51 kcal
	小計		544 kcal
夕食	ご飯(米)	70 g	250 kcal
	わかめスープ	6.4 g	21 kcal
	いわしの味噌煮缶詰	140 g	170 kcal
	小計		441 kcal
	総計		1511 kcal

[災害時の食事について]

施設倉庫(和楽苑)には、災害時のための非常用食品を3食分(1日分)備蓄しています。災害発生後、必要に応じて上記の献立に沿った食事を入所者に提供してください。

[調理器具等]

ライフラインの被害状況を考慮し、臨機応変に調理器具の選択をする。カセットコンロ、バーベキューセット、鍋、ホットプレート等を備えてあるので非常食品の調理方法に沿って、適宜対応してください。

[予備食]

食品庫に保管  
 ・米 30kg  
 ・味噌 5kg  
 ・各種調味料  
 ・梅干し 20kg  
 ・水 2リットル×50本

[備品類]

和楽苑に保管  
 ・割り箸  
 ・使い捨て容器  
 ・紙コップ  
 ・マッチ  
 ・缶切  
 ・使い捨て手袋

施設内食事提供業務の代行保証に関する覚書

(事業者) 社会福祉法人 愛恵会  
 養護老人ホーム五葉寮

(代表者名) 小笠原 文一様

非常時の食事の提供先2業者も釜石市内で被災して提供できなかった

上記事業所に、不足の事故が生じた場合は、当社において利用者等への食事の提供業務を代行します。

《食事提供内容》

- ・主食 御飯(おにぎり)及び御粥
- ・副食 普通食、刻み食、極細刻み食

- ・提供食数 朝 50食  
 昼 50食  
 夕 50食

- ・提供回数(3回) 朝 (8時)  
 昼 (12時)  
 夕 (18時)

- ・食事単価については適宜相談とします。

平成 年 月 日

(会社名)

(代表者名)

平成23年3月11日(金)の東日本大震災より  
12日間の食事提供状況(3月22日まで)

3/11(金)	夕食	黄桃缶、白桃缶、洋梨缶(1人ひとつ) 缶詰の汁
	朝食	自動販売機の缶ジュース1本、お菓子
3/12(土)	昼食	栗林へ避難のため食へず移動 栗橋基幹集落センターへ
	夕食	配給のおにぎりとお菓子を五葉寮で作ってきたおにぎり
3/13(日)	朝食	おにぎり、漬物、差し入れのりんご
	昼食	おにぎり、漬物
	夕食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、漬物 ※基幹集落センターに愛護会集合 五葉寮に食料、布団、米、味噌、取りに行ってきた 夜、ビッグハウスよりうどん、そばもらう
3/14(月)	朝食	おかゆ、梅干、味噌汁(じゃが芋)、漬物
	昼食	うどん(配給のゆで卵のせ)、おにぎり、漬物
	夕食	おにぎり、味噌汁(ふのり)、すき昆布の煮物、漬物、ゆで卵 ※JAショップよりお菓子買出し
3/15(火)	朝食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、ほうれん草のおひたし
		黒豆、漬物
	昼食	うどん、おにぎり、漬物、ふきの煮物(小野寺支援員より)
	おやつ	みかん、バナナ
3/16(水)	夕食	おにぎり、パン、ソーセージとベーコン炒め、漬物 ふるふき大根
	朝食	おにぎり、パン、味噌汁(白菜)、漬物
	昼食	おにぎり、煮込みうどん、そば(玉ねぎ、干しいたけ) 漬物、おひたし(白菜とわかめ)、煮豆
	おやつ	りんご
3/17(木)	夕食	おにぎり、味噌汁(じゃが芋)、さば味噌煮缶詰と大根おろし 漬物
	朝食	おにぎり、味噌汁(わかめ)、じゃが芋と玉ねぎの煮物、漬物
	昼食	おにぎり、漬物、麦茶
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
3/18(金)	夕食	おにぎり、漬物、麦茶
	朝食	玉子雑炊、漬物、麦茶
	昼食	おにぎり、じゃが芋とピーマンの味噌炒め、漬物
	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
3/19(土)	夕食	おにぎり、味噌汁(白菜)、たくあん缶詰、さんま生姜煮 ※栗林地区の炊き出し断る
	朝食	梅と海苔の雑炊、味噌汁(キャベツ)、漬物、さつま芋の煮物
	おやつ	りんご
	昼食	おにぎり、カレー、フランスパン
3/20(日)	おやつ	ポカリスウェット、お菓子
	夕食	おにぎり、味噌汁(白菜)、漬物、牛肉大和煮(缶詰)
	朝食	おかゆ、味噌汁(わかめとねぎ)、漬物、ヤクルト 茄子とキャベツの炒め物
	おやつ	りんご
3/21(月)	昼食	おにぎり、キャベツのおひたし、鶏とモツの煮込み缶詰
	おやつ	ロールケーキ、餡2ヶ
	夕食	おにぎり、味噌汁(キャベツ)、じゃが芋としいたけの煮物
	朝食	パン、玉ねぎとわかめとしいたけのスープ、バナナ スクランブルエッグ
3/22(火)	おやつ	りんご
	昼食	おにぎり、味噌汁(さつま芋とねぎ)、いわしの生姜煮 ポカリスウェット、お菓子
	夕食	カレーライス、味噌汁(キャベツとしいたけ)、スパサラダ ご飯、味噌汁(玉ねぎとわかめ)、さんま缶詰、牛乳 しいたけの炒め物
	朝食	おにぎり(梅)2ヶ、飲み物、お菓子の袋詰め ※入所者、県内の養護老人ホームへ一時避難 ※デイサービス利用者、はまゆりへ避難

○ 被災当日3月22日は高齢者には和楽苑の非常食桃缶等を1人1個のとして食事提供した。

汁を飲んでいただき水分補給をいたしました。

○ 3月12日からは職員や地域の方々、デイ利用者のご家族より食料支援をいただきました。

○ 3月16日からは自衛隊の食糧支援をいただきました。